

## 文部科学大臣杯・国土交通大臣杯

# 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2015

## 競技会概要

- 1 競技会名 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2015
- 2 開催趣旨 全国の連盟登録ジュニアヨットクラブと海外チームのジュニアセーラー達が一堂に会して、日頃鍛えた帆走技術とシーマンシップを競い合い、その向上を図るとともに、海外チームとの交流により国内ジュニアセーラー達が国際感覚を磨き、その視野をひろげ、また地元地域の子供たちとの触れ合いを通して健全な水辺スポーツとしてのヨットを啓蒙、普及させて、生涯スポーツとしてのヨットの発展に貢献することです。  
本年度は東日本大震災から5年目を迎えた宮古の海で競技会を開催し、日本各地と外国から参加するジュニアセーラーや指導者たちに被災地の復興の現状や元気なジュニアセーラーの活躍する姿を見て頂き、更なる復興の一助となることを期して行います。  
併せて、本年は宮古港開港400周年に当たりますので、その記念事業の一環としての開催となります。
- 3 共同主催 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟（以下JJYUと云う）  
岩手県ヨット連盟  
宮古ジュニアセーリングクラブ  
宮古市  
宮古港開港400周年記念事業実行委員会
- 4 後援 文部科学省 国土交通省 岩手県  
公益財団法人日本セーリング連盟（以下JSAFと云う・承認番号H27-04）  
東北セーリング連盟 東北少年ヨット連盟  
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団（以下YMF Sと云う）  
日本オプティミストディンギー協会（以下OP協会と云う）  
日本レーザークラス協会 日本420協会 日本FJ協会 株式会社舵社
- 5 協賛 エスビー食品株式会社 アサヒ飲料株式会社
- 6 協力 宮古漁業協同組合、宮古海上保安署、宮古警察署、宮古消防署  
NPO法人いわてマリフィールド  
NPO法人マリプレイス東京 江の島ヨットクラブジュニア

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2015 参加クラブ指導者・保護者

7 運 営 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2015 実行委員会

8 競技会役員	会長	石原伸晃	J J Y U 会長
	副会長	佐藤精知夫	J J Y U 副会長
		安井 清	J J Y U 副会長
	名誉顧問	榊 顕治	岩手県ヨット連盟会長
		達増拓也	岩手県知事
		山本正徳	宮古市長
	委員長	河野博文	J S A F 会長
		伊藤雅宣	J J Y U 専務理事
		副委員長	橋本久夫

9 期 日 平成 27 年 7 月 31 日(金)、8 月 1 日(土)、2 日(日)の 3 日間

1 0 行事日程	競技会受付	7 月 31 日	08 : 00 ~
	トライアルレース		12 : 30 ~ 14 : 30
	開会式		16 : 30 ~ 17 : 30
	安全講習会		17 : 30 ~ 17 : 50
	競技運営説明会		17 : 50 ~ 18 : 20
	国際交流会とイベント		18 : 30 ~ 20 : 00
	競技会第 1 日目	8 月 1 日	09 : 30 ~
	競技会第 2 日目	8 月 2 日	09 : 30 ~ 13 : 00
	閉会式		15 : 00 ~ 16 : 00

1 1 会 場 リアスハーバー宮古

〒027-0028 岩手県宮古市神林 9-1

連絡電話 0193-71-1120

(指定管理者 特定非営利活動法人 いわてマリフィールド)

※開会式・国際交流会会場 :

〒027-0028 リアスハーバー宮古

※競技海面 : 宮古湾内 2 海面

A 海面 (OP 級上級者、レーザー 4.7、国際 420 級、F J 級)

B 海面 (OP 級初級者)

※閉会式会場 : リアスハーバー宮古

1 2 競技種目	(1) OP 級初級者	(2) OP 級上級者	(3) レーザー 4.7
	(4) 国際 420 級	(5) F J 級	

### 1 3 競技内容 (1) 種目別個人対抗レース

- ①国内ジュニアヨット種目別個人対抗レース
  - ②国際交流ジュニアヨット種目別個人対抗レース
- (2) ジュニアヨットクラブ対抗レース

- ①国内ジュニアヨットクラブ対抗レース
- ②国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レース

(3) OP級初級者種目のレースは主催者の準備する艇による乗廻し方式です。尚、選手自身の責任による衝突その他による艇、備品の破損等の修理代を担保するために、クラブとしてデポジット20,000円を参加料と共に納入して下さい。

※詳細は別紙「レース公示」の通りです。

### 1 4 賞

#### (1) J J Y U 特別賞

##### ①小澤吉太郎特別賞

シーマンシップに溢れる選手、指導者またはクラブを表彰します。

##### ②国内ジュニアヨットクラブ対抗レース特別賞

国内ジュニアヨットクラブ対抗レース上位3クラブの選手(各クラブ1名)をJ J Y Uが主催する海外セーリング研修に派遣、その渡航費を援助します。

なお、当連盟の海外研修の目的から、各クラブにおいて派遣選手を選抜する際に下記の通りのことを配慮するものとします。

イ. 本競技会に参加した選手であること。

ロ. 過去に海外セーリング(競技大会やセーリングクリニック等)の経験のない選手であること。

ハ. 連盟の指導者が引率するが、基本的なこと(生活、練習等)は自分で出来ること、積極的にコミュニケーションが取れること。(語学が上手ということではない)

ニ. 挨拶、礼儀がきちんとできること。

ホ. ホームステイを前提とするので、楽しく明るく生活できる心を持った人であること。

#### (2) 個人表彰 ①特別表彰

文部科学大臣杯 国土交通大臣杯

岩手県知事杯 宮古市長杯 (※)

小澤吉太郎杯 奥村純雄杯 東北少年ヨット連盟会長杯 (※)

② J J Y U 表彰 J J Y U 表彰状とメダル、

③ 国際交流表彰 J J Y U 表彰状とメダル

#### (3) 団体表彰 ①国内ジュニアヨットクラブ対抗レース J J Y U 会長杯、入賞盾、表彰状

②国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レース J J Y U 表彰状と盾

#### (4) J J Y U 会長特別杯 (※)

①国際交流表彰 OP級上級者、レーザー4.7種目で海外選手の中で最高順位選手

②国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レース 最高順位の海外チーム

(※) 印以外の賞杯は持回りとし、翌年返還時にレプリカを授与する。

## 1.5 参加資格

- (1) 国内参加選手は平成 27 年度 JSAF 会員である者  
会員未登録の場合は参加受付時に会員登録の申込を受付けます。
- (2) J J Y U に登録しているジュニアヨットクラブの提出する平成 27 年度ジュニアセーラー名簿記載の選手  
万一、未登録クラブの選手の場合は参加申込み時までにクラブの登録をして参加資格を取得して下さい。
- (3) 主催者が招待した海外チームの選手
- (4) 主催者が参加を認めた選手
- (5) 各級の年齢制限(平成 27 年 4 月 2 日現在)を満たす者
  - \* O P 級 . . . . . 6 歳以上 15 歳以下
  - \* レーザー 4.7 . . . . . 12 歳以上 18 歳以下
  - \* 国際 4 2 0 級 . . . . . 12 歳以上 18 歳以下
  - \* F J 級 . . . . . 12 歳以上 18 歳以下

## 1.6 海外チーム

招待する海外チームの国は次の 4 ヶ国の予定です。  
ニュージーランド、オーストラリア、シンガポール、香港  
海外チームの参加料、チャーターボート料、宿泊費、弁当等は主催者が負担します。

## 1.7 参加料等

### (1) 参加料

- 選手 . . . . . 9,000 円 /1 人 (交流会費・弁当代込)
- J J Y U 未登録クラブの選手 . . . . . 13,000 円 /1 人 (交流会費・弁当代込)
- 2 人乗り艇 (420 級) 選手 . . . . . 18,000 円 /1 艇 (交流会費・弁当代込)
- 指導者・保護者 . . . . . 3,000 円 /1 人 (交流会費込)
- J J Y U 未登録クラブの指導者・保護者 . . . . . 5,000 円 /1 人 (交流会費込)
- 同伴小中高生 . . . . . 2,000 円 /1 人 (交流会費として)

※参加料は、単に選手のレース参加料のことだけでなく選手の応援、援助で本競技会に参加していただく指導者、保護者の参加料のことも含めるものです。

※国際交流会は競技会の大切な行事です。是非とも選手はもとより指導者、保護者、同伴者も全員参加してください。レースに参加しない小中高生は交流会費としての参加料 2,000 円/1 人をご負担下さい。

### (2) 弁当 (飲物付き) は参加選手全員に 3 日間無料配布します。

指導者・保護者、同伴小中高生で弁当希望者は、600 円/個 (飲物付き) ですので、クラブで纏めて、申込書に競技会の日程ごとに希望数を記入して申し込んで下さい。

※競技会最終日 (2 日) の昼食のカレーは全員に無料で提供します。

### 【注意事項】

※本競技会前日以降の参加取り消しには原則として参加料等の返却は致しません。

※本競技会に参加料等を支払った選手、指導者、保護者、同伴小中高生には参加の証として参加者全員に着用して頂くユニフォームを用意します。

※交流会費を支払った証として競技会参加タグを配布しますので、交流会の時は胸に掛けて下さい。

### (3) チャーターボートについて

OP級、レーザー4.7、国際420級についてチャーター艇の用意がありますが、隻数、艇の状態については限度がありますので、希望に添えない場合があります。実行委員会に照会の上、参加申込書に記入して申し込んで下さい。

チャーター料（競技会期間）は以下の通りです。

OP級 (IOD95)	10,000円
レーザー4.7 (一式)	13,000円
レーザー4.7 (ロアマスト・セールのみ)	5,000円
国際420級 (一式)	20,000円

尚、選手自身の責任による衝突その他による艇、備品の破損等の修理代を担保するために、クラブとしてデポジット20,000円を参加料と共に納入して下さい。

但し、OP級初級者で、デポジットを支払ったクラブは重複して支払う必要はありません。

特に何も問題がない場合には、競技会終了後出来るだけ速やかに返金しますので、振込先を記入して下さい。

## 1.8 参加申込方法

所定の「参加申込書」と「参加選手リスト」(名前には必ずフリガナを付けて下さい)に必要な事項を記入の上、期限までに下記の申込み先宛てにメール又はFAXして下さい。メール送信可能な方はファイルを添付するメール送信で参加を申し込んで下さい。その場合のファイルの様式は下記の申込み先のメールアドレスにお問合わせ下されば返信いたします。連盟のホームページからもダウンロード可能です。

参加申込みと同時に、参加料等はJJYUの下記銀行口座へ振込手続きをして下さい。(振込手数料のご負担をお願いします)

### 《参加申込み先》

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会実行委員会

塩野崎 英二 (JJYU理事)

E-mail e-shio@ozzio.jp

FAX 045-944-3522

電話 045-944-3522

携帯電話 090-2734-8611

《参加料等振込先》三井住友銀行 新橋支店

普通預金口座番号 1417976

口座名義 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

#### 1 9 申込み期限

「参加申込書」、「参加選手リスト」のメール/FAX 及び参加料等の振込は平成 27 年 6 月 30 日（火）までに必着とします。

（やむを得ず参加者の変更がある場合、7 月 16（木）を最終期限として受け付けます）

#### 2 0 宿泊の紹介

競技会期間中の宿泊については参加申込書に同封の「宿泊施設のご案内」を参考の上各自でお申込下さい。（参加人数分の部屋を抑えていますが、早めに予約を済ませて下さい）

#### 2 1 サポートボート 「参加申込書」第 5 項に必要事項を記入の上、申込んで下さい。

- #### 2 2 留意事項
- \*本競技会は選手を教育、指導する目的を有するものですから、その所属するクラブの指導者・保護者が競技会及びレース運営について意見や疑義を申したてる場合は、参加申込みをした指導者・保護者のうち、あらかじめ届けのあった指導者代表者 1 名（J J Y U 公認指導員であること）に限定されるものとします。
  - \*本競技会は選手の安全を第一とするために、出艇及び帰着申告はその所属するクラブの指導者・保護者が責任をもって自分のクラブの全選手についての届出をすることとします。
  - \*競技会参加者は自らスポーツ傷害保険及び損害賠償責任保険に加入し、加入が確認できる書類のコピーを事前に提出して下さい。
  - \*競技会参加者は健康保険証（カードまたはコピー）を持参して下さい
  - \*熱中症予防のため、帽子・パラソル・テント等の日除け及び飲料水を用意して下さい。

#### 【問合せ先】

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会実行委員会

塩野崎 英二（J J Y U 理事）

E-mail e-shio@ozzio.jp

FAX 045-944-3522

電話 045-944-3522

携帯電話 090-2734-8611